

科目名	ところと行動				
担当者氏名	高田 晃治				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 1-9（知識と理解）人間生活に関わる基本的な知識を修得している。			

《授業の概要》

人間の行動の背景には様々なところの動きがある。モノがあふれる現代、人々の関心は内面へと向い心理学に対する関心もますます高まっている。本講義では、日常的なトピックスからこころの深層の世界までさまざまな題材を取り上げながら、心理学についての理解を深める。

《テキスト》

特に指定しない。適宜プリント等を配布する。

《参考図書》

講義中に適宜紹介する。

《授業の到達目標》

- ①心理学の基礎的・一般的な知識を習得し、説明することができる。
- ②他者の言動や心理を理解するための視点を持つ。
- ③自分自身のこころの動きや行動、発達過程を内省する意識を持つ。

《授業時間外学修》

事前学修：授業概要および授業中の予告等をもとに、関連する項目を予習すること（20分程度）。
事後学修：授業で配布されたプリントならびに授業で紹介された文献等をもとに発展的に自学自習すること（20分程度）。

《成績評価の方法》

1. 試験（70%）
 2. 講義中の提出物（30%）
- 《試験のフィードバックの方法》
期末試験後、解説を行う（試験60分、解説30分）。

《備考》

授業の具体的な内容、進度は授業計画に沿いながら、適宜調整する
実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション 心理学とは？	「心理学」という学問領域について概説する。授業に関するオリエンテーションを行う。
2	感情・情動	感情や情動が生起するプロセスや機能等について学修する。
3	感覚・知覚	感覚・知覚の種類や過程等について学修する。
4	記憶の心理学	記憶の種類やプロセスについて学修する。
5	学習心理学	連合理論、条件づけ、認知理論、行動の学習や消去のプロセスについてなど概説する。
6	こころの発達（1）	乳児期～学童期の心身の発達について学修する。
7	こころの発達（2）	青年期～高齢期の心身の発達について学修する。
8	対人認知と印象形成	対人認知の過程や諸要因について学修する。
9	集団と組織の理解	集団や組織が個人の認知・行動に及ぼす影響等について学修する。
10	欲求・動機づけ	欲求や動機づけの種類や関連要因について学修する。
11	パーソナリティ・性格	パーソナリティに関する諸理論やパーソナリティ検査等について学修する。
12	知能と創造性	知能に関する理論や知能検査、創造性や創造的思考について学修する。
13	ストレスと適応	ストレスが心身に与える影響やストレスへの対処、個人の環境に対する適応に関する諸問題について学修する。
14	心理学的支援と心理臨床	今日の社会における心理学的支援の意義や関係する専門職、臨床心理行為の特色について学修する。
15	まとめ	「心理学」について授業を通じて学んだことを振り返り、確認する。

科目名	人間関係論				
担当者氏名	高田 晃治				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 3-50 (態度と志向性) 社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

人間関係は我々の生活の基本であり、人間が人間として生きていくために不可欠な要素である。本講義では、日常生活で経験する様々な人間関係を取り上げながら、これまでの研究による知見を紹介し、心理学的観点からその意味を検討していく。

《テキスト》

特に指定しない。適宜プリント等を配布する。

《参考図書》

講義中に適宜紹介する。

《授業の到達目標》

- ①人間関係で生じる諸現象を心理学の概念を用いて説明できる。
- ②人間関係の発達過程を理解している。

《授業時間外学修》

事前学修：授業概要および授業中の予告等をもとに、関連する項目を予習すること（20分程度）。
事後学修：授業で配布されたプリントならびに授業で紹介された文献等をもとに発展的に自学自習すること（20分程度）。

《成績評価の方法》

1. レポート（70%）
2. 講義中の提出物（30%）

《課題へのフィードバックの方法》
提出物ならびにレポートについて講評の時間を設ける。

《備考》

授業の具体的な内容、進度は授業計画に沿いながら、適宜調整する
実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション：人間関係論とは？	「人間関係論」という学問領域について概説する。授業に関するオリエンテーションを行う。
2	自己と他者	「自己」と関連する諸概念、二者関係における対人認知や印象形成の過程と諸要因について学ぶ。
3	人間関係の発達(1)：乳児期	乳児期における人間関係、母子関係とその発達過程について学ぶ。
4	人間関係の発達(2)：幼児期～学童期	幼児期ならびに学童期における人間関係の発達過程について学ぶ。
5	人間関係の発達(3)：青年期・成人期・高齢期	青年期、成人期、高齢期（老年期）における人間関係の発達過程について学ぶ。
6	恋愛関係の心理学	恋愛関係および恋愛行動にかかわる理論や要因について学修する。
7	家族関係の心理学(1)	家族関係について心理学的観点から概説する。
8	家族関係の心理学(2)	現代社会における家族を取り巻く環境、困難や支援のあり方について学ぶ。
9	地域社会とコミュニティ(1)	地域社会、コミュニティ、ソーシャルサポートと関連する諸概念について学ぶ。
10	地域社会とコミュニティ(2)	近年のコミュニティの現状、問題点などを検討する。
11	地域社会とコミュニティ(3)	コミュニティにおける支援活動、自助グループ等について学ぶ。
12	集団力学	集団が個人および集団相互に与える心理学的影響について学ぶ。
13	組織の心理学	組織の持つ性質、問題点、リーダーシップの機能等について学ぶ。
14	「さよなら」の心理学	人間関係の終焉としての「別れ」「喪失」について考察する。
15	まとめ	「人間関係論」について授業を通じて学んだことを振り返り、確認する。

《教養科目 科学的思考の基盤》

科目名	理数基礎B				
担当者氏名	岡村 美和				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 4-74（総合的な学習経験と創造的思考力）習得した知識・技能を用いて、問題解決に向けた創造的思考をすることができる。			

《授業の概要》

基礎分野である「物理学、化学、生物学、統計学」などを理解するために、高等学校教育までの内容で、医療系職種に必要な基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

- ①医療人の基礎力として、理数系の考え方を身に付けていく。
- ②基礎専門科目や専門科目に応用ができる。
- ③濃度の計算を理解している。

《成績評価の方法》

- ①期末時に実施される定期試験(90%)
 - ②平常点(授業態度、10%)
- 《学生へのフィードバックの方法》
試験終了後に試験の内容に対して説明をする。
期末試験60分、解説30分

《テキスト》

- ①臨床工学講座 医用電気工学Ⅰ 戸畑・中島・福長 医歯薬出版
- ②必要に応じて配布プリントがある。

《参考図書》

- ①臨床工学講座 医用機械工学 嶋津・馬淵 医歯薬出版
- ②臨床検査講座 物理学 嶋津他 医歯薬出版
- ③臨床検査講座 数学／統計学 宇田川・井川・谷口 医歯薬出版
- ④臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 中島・氏平 医歯薬出版

《授業時間外学修》

- ①高等学校で学習した化学を中心に復習しておくこと。
 - ②数学は計算機（電卓）が使えるようにしておくこと。
- 事前学修：高等学校での教科書を参照し、読んでおくこと（20分程度）。
事後学修：講義でした計算問題(プリント)をもう一度すること（30分程度）。

《備考》

実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	数学①	1. 関数電卓の使い方
2	数学②	2. 高校まで学習した数学の知識と解法
3	数学③	3. 大学新入生として必要な数学(知識) 三角関数、ベクトル、行列、微分、積分
4	数学④	4. 大学新入生として必要な数学(解法) 演習問題
5	数学⑤	5. 医療人として必要な数学(知識) 単位、接頭語、面積、体積、流量、流速など
6	数学⑥	6. 医療人として必要な数学(解法) 演習問題①
7	数学⑦	7. 医療人として必要な数学(演習) 演習問題②
8	数学⑧	8. まとめ(数学)
9	化学①	9. 物質の性質
10	化学②	1 0. 濃度計算①
11	化学③	1 1. 濃度計算②
12	化学④	1 2. 濃度計算③
13	化学⑤	1 3. 試薬作製方法
14	化学⑥	1 4. 器具の取り扱い
15	化学⑦	1 5. まとめ(化学)

科目名	ボランティアワーク				
担当者氏名	小野寺 利恵				
授業方法	その他	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○ 3-50 (態度と志向性) 社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

近年ボランティア活動は、一部の篤志家による奉仕・慈善活動というよりも、様々なかたちで多くの市民が自発的に参加する活動となっている。ボランティア活動は、地域社会を活性化し、人々の交流を深め、参加した本人の生活も豊かにしうるものである。本授業は一定の基準を満たせば単位認定する。またボランティアに関する情報提供を行うなど、学生のボランティア活動をサポートする。

《授業の到達目標》

①ボランティア受け入れ先のニーズを尊重した上で、自発的に考え、行動し、受け入れ先の人や地域との積極的な交流を図ることができる。②一般社会人として、自分自身にとってのボランティア活動の意義、相手の方や地域等にとってのボランティア活動の意義を理解できる。

《成績評価の方法》

活動報告書 (30%)
ボランティア活動時間 (70%)
《成績のフィードバック方法》
活動報告書を基に、活動内容について確認する。

《テキスト》

プリント (さんじょボランティアワーク)

《参考図書》

適宜紹介
「ボランティアのすすめ (基礎から実践まで)」ミネルヴァ書房
岡本栄一「学生のためのボランティア論」大阪ボランティア協会出版部
田中優「幸せを届けるボランティア不幸を招くボランティア」河出書房新社

《授業時間外学修》

事前学修：事前に受け入れ先の活動内容を把握し、目的や諸注意を理解しておく。(10分程度)
活動実施前に「ボランティア活動計画書」を提出する。
事後学修：活動後に「ボランティア活動報告書」を提出する。

《備考》

活動時間の累計は、人間生活学科と食物栄養学科は卒業年度の1月末日、臨床検査学科は12月末日までの活動時間とする。
実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ボランティア活動	受け入れ先の活動内容に従い30時間以上実施
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	デ・ステュケーション論(生命倫理)				
担当者氏名	堀田 悦子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 1-9 (知識と理解)人間生活に関わる基本的な知識を修得している。 ◎ 2-18 (技能)生活する上で必要なコミュニケーション技能を身につけている。 ◎ 3-27 (態度と志向性)高い教養を学修し、地域社会で主体的に活動できる力を身に付けている。 ◎ 3-29 (態度と志向性)社会人として必要な自己管理能力、協調性、高い倫理観、規律性を身につけている。 ◎ 4-34 (総合的な学習経験と創造的思考力)獲得した学習成果を活用し、自ら問題を発見し、解決する能力を持っている。			

《授業の概要》

医療の進歩に伴い、生命をめぐる倫理的課題が山積している。本授業では、生命に携わる医療職者として基盤となる考え方を理解するとともに、自己の在りようを考察する。さらに、倫理的問題に対応するための基本となる知識・技術・態度を習得するために、事例やワークを通して学びを深める。

《テキスト》

児玉 聡 「マンガで学ぶ生命倫理」 (株) 化学同人
配布資料：授業内容のポイント

《参考図書》

適宜提示する

《授業の到達目標》

- ①自己の死生観を育むことができる。
- ②倫理原則を理解し、医療職者としての知識・技術・態度を理解している。
- ③生命にかかわる倫理的課題を理解している。
- ④終末期医療の現状を理解している。
- ⑤終末期にある患者・家族の特徴を理解している。

《授業時間外学修》

事前学修(20分)：次回の授業範囲を読み、その項目に取り上げられている生命倫理について自分の考えをまとめておくこと
事後学修(20分)：講義内容、医療、生命に関わる社会の出来事に関する新聞記事やニュースを閲覧すること

《成績評価の方法》

- ①期末試験50%
 - ②平常点20% (レポートにより講義の理解度を確認)
 - ③課題レポート30%
- ＜試験のフィードバック方法＞
期末試験終了後に解説する。試験60分・解説30分

《備考》

授業時間外学習からテーマを選び、課題レポートを作成する。
実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス/生と死を考える	講義内容のガイダンス/米国・日本における生命倫理の歴史
2	倫理原則とは	患者の権利、医療者の責務/職業倫理/倫理原則
3	生殖医療から生命を考える	生殖医療の現状とその課題
4	ホスピス/緩和ケア	告知と意思決定/インフォームド・コンセント
5	死にゆく人の心理	事例から考える
6	臨床における倫理①	中絶と胎児の権利/母性保護法/出生前診断
7	事例から生命を考える①	能力・肉体改造/エンハンスメントの倫理的問題
8	臨死期・看取り	安楽死/尊厳死/リビングウィル/アドバンス・ケア・プランニング/緩和医療
9	事例から生命を考える②	事例から考える
10	生命をめぐる倫理的課題①	生体臓器移植の現状と課題
11	生命をめぐる倫理的課題②	人へのクローン技術応用に関する倫理的問題
12	臨床における倫理②	E S 細胞/i P S 細胞/再生医療/高齢化社会
13	臓器移植から生命を考える	脳死による臓器移植の現状と課題
14	学習内容から生命を考える①	学習内容から生命を考える/新たな気づきや学び/専門職としてどのように活用するか
15	学習内容から生命を考える②/まとめ	生命倫理に関するまとめ

科目名	インテリアプランニング				
担当者氏名	白井 周子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 1-9（知識と理解）人間生活に関わる基本的な知識を修得している。 ◎ 2-20（技能）プレゼンテーションに関する基本的な技能を身につけている。 ○ 4-33（総合的な学習経験と創造的思考力）これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。			

《授業の概要》

超高齢社会、環境問題など今やさまざまな問題を抱えた社会にあって、充実した生活を送る基盤となる住まいは、快適なものでありたい。

インテリアの基礎知識を通し、あらゆる意味での快適住空間を考える。また、これらに基づきプランを考える。

《テキスト》

適宜プリントを配付する。

《参考図書》

特になし。

《授業の到達目標》

- ① インテリアエレメントの知識を理解している。
- ② 快適住空間を考えることができる。
- ③ インテリアプランができる。

《成績評価の方法》

- ① 期末試験 80%
 - ② 提出物 15%
 - ③ 平常点（授業態度）5%
- ＜フィードバックの方法＞

期末試験後に解説を行う（試験60分・解説30分）

《授業時間外学修》

事前学修

- ・ 特になし。

事後学修

- ・ 講義内容をふまえて、自宅など、身近な場所を確認し、改めてインテリアプランニングについて考えてみる。
- （所要時間はそれぞれの時間による）

《備考》

- ・ 日ごろから、美術館などに行ってみよう。感性を磨く。
 - ・ 授業に必要と言った物は、各自忘れず持参の事。
- 実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	まずはインテリアについて	生活と住空間の関係、こんにちまでの変遷。インテリアとは。
2	あかり	照明の目的。光源、器具の種類、効果。住空間における照明計画。
3	カラー色々	色によるあらゆる影響、性質、効果。住空間での色彩計画。
4	快適キッチン	キッチン形体、分類など。効率良いキッチンとは。
5	和のかたち	和室の効用、様式。改めて、和室を考える。
6	インテリアイメージ&スタイル	インテリアをプランする上でのプロセス。インテリアスタイル別イメージを理解する。
7	光と風。ウィンドウまわり	光、風の必要性。窓関連について。
8	暮らしとサイズ	生活に係る身近な人間工学的考察。
9	インテリアアクセサリ	インテリアを演出する種類と構成。
10	バリアフリー&ユニバーサルデザイン	バリアフリーとは。住空間におけるバリアフリー。ユニバーサルデザインとは。
11	インテリア図面の見方	インテリア図面の種類、見方を知る。
12	インテリアプランニングⅠ	これまでの内容を応用し、住空間の一部の間取りをプランする。
13	インテリアプランニングⅡ	インテリアプランを仕上げる。
14	トータル作品作成	総まとめとして、前授業のプランしたものを、スタイルに沿ったインテリアエレメントをカタログ等で選択し、インテリアボード作品にする。
15	トータル作品仕上げ	ボードを仕上げる。

科目名	母と子の健康				
担当者氏名	井上 富美江				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 1-9 (知識と理解) 人間生活に関わる基本的な知識を修得している。 ○ 1-10 (知識と理解) 生活する上で必要な社会常識を理解している。 ○ 1-11 (知識と理解) 人とのコミュニケーションに関わる知識を修得している。 ○ 3-28 (態度と志向性) 専門知識や技能を用いて社会に貢献できる。			

《授業の概要》

一人の女性として、自分の身体の構造を知り、ライフステージ各期の身体の変化と起こりうるさまざまな疾患について学ぶ。また社会問題である性感染症について知り、正しい予防法と避妊法の知識を深めてもらう。

妊産婦・新生児から小児までの健康・疾患を知り、母子を取り巻く環境について学ぶ。

《授業の到達目標》

- ① 女性の身体構造とその機能を理解している。
- ② 避妊・性感染症予防に必要な知識を説明できる。
- ③ 女性のライフステージと健康障害について理解できる。
- ④ 妊娠・出産・小児の健康課題を知り、理解できる。

《成績評価の方法》

① 平常点30% (授業態度10%・レポート20%)

② 期末試験 (70%)

《試験のフィードバック方法》

期末試験終了後に解説する。(試験60分・解説30分)

《テキスト》

谷田恭枝 著「新版 女性と生命」東海大学出版部
その他、プリント・映像資料

《参考図書》

ラーシュ ハンベルイェル著「誕生の神秘」小学館
木原 秀樹著「240動画でわかる赤ちゃんの発達地図」メディカ出版
「ウィメンズ・メディカ」小学館
深沢友紀著「産声のない天使たち」朝日新聞出版

《授業時間外学修》

- ・事前学修 (30分程度) : テキストに目を通して、わからない言葉があれば調べておく。
- ・事後学修 (15分程度) : 街中での妊婦や子供の様子や行動、母子関連のニュースに関心を持ち、自分の考えを整理しておく。

《備考》

授業の具体的な内容・進度は授業計画に沿いながら適宜調整していく。
実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	OR・母子保健	講義の進め方の説明・母子保健の意義と歴史、現状など
2	女性の生理的特徴①	女性の身体の構造
3	女性の生理的特徴②	女性の身体の働き
4	女性のライフステージと関連疾患①	女性のライフステージ：思春期～
5	女性のライフステージと関連疾患②	成熟期：避妊法と性感染症予防
6	女性のライフステージと関連疾患③	成熟期：月経のトラブルと炎症、不妊症と妊娠中絶
7	女性のライフステージと関連疾患④	更年期：がん・更年期、子宮の疾患など
8	女性の関連疾患⑤ 妊産婦の健康上の問題①	乳がん／妊娠の成立
9	妊産婦の健康上の問題②	胎児の発育
10	妊産婦の健康上の問題③	妊娠期の異常
11	妊産婦の健康上の問題④	分娩期各期・分娩の3要素
12	産褥期	産褥期の異常
13	小児の成長と発達	小児（新生児）の成長と発達、栄養（離乳食）
14	小児の疾患・事故	小児期の疾患・感染症とその予防、事故と虐待
15	妊産婦の健康上の問題⑤	DVD（生命誕生・出産）

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	フレッシュマン・セミナーⅠ				
担当者氏名	梅本 礼子				
授業方法	講義	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 1-9（知識と理解）人間生活に関わる基本的な知識を修得している。 ○ 3-28（態度と志向性）専門知識や技能を用いて社会に貢献できる。			

《授業の概要》

この授業は、初年次教育として、学園の沿革、地域の学習、地域連携等、本学の学生として充実した学生生活を過ごすための学習面と生活面のガイダンスで構成されています。学生としての責任ある行動や心構えを学び、個々の目標に沿った学生生活を送る指針としていただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（15分）
 事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューター、或いは、学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講する。
 主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー（学科①）	ディプロマポリシーと履修科目との関係をカリキュラムツリーを使って説明する。ポータルサイトに今期の目標やキャリアチャートなどを入力する。
2	セミナーについて、レポートの書き方と読書の勧め	セミナーの受講について、セミナーレポートを書く上での要領を学ぶ。図書館の利用方法と読書の大切さについて
3	学園の沿革と建学の精神	学園の創立からの歴史を振り返り本学の建学の精神と教育目標について話す。実践目標愛優輝について事例を上げ、目標に近づけるよう学生生活を過ごすことを勧める。
4	大学生活の過ごし方	大学生が直面する悩みについて考える。また、カウンセリング・ルームの利用方法について学ぶ。
5	情報倫理（個人情報と守秘義務）	職務上知った「秘密を守る」ことや、「個人情報を開示しない」といった、個人の権利や利益を守るための法律上の義務について、一緒に考える。
6	カルト問題について	カルト問題とその対策について基礎知識を学ぶ。人権侵害組織に巻き込まれない、マインド・コントロールを受けないために
7	社会貢献	世の中に必要とされている事柄、学生としてどのようなことに社会貢献していけるかについて考える
8	防災・自助と共助を学ぶ	個々の備えと助け合いが必要な防災についてや、具体的な佐方地区の防災体制について、地域の防災担当や自治会の方から学ぶ。
9	消費者教育	消費者被害者等の危機回避能力、生活設計能力、問題解決能力をはぐくむため、消費に関する基礎的・基本的な知識及び技能を学ぶ
10	薬物犯罪の被害者にならないために	薬物犯罪の現状を知り、被害者にならない為に日頃から意識することや、実践的な対処法を現場の警察の方から学ぶ。
11	地域理解 ①廿日市市 ②宮島学	廿日市市・宮島の歴史文化・風土などに触れ、地域の特性に詳しい行政担当者・観光協会担当者から具体的な情報を聞き、どう地域貢献に繋げるかを学ぶ。
12	命を考える	人として、今後母親としてそれぞれの視点から「命」や「命を授かる」といったことを日頃人の生死にかかわる仕事をされている助産師の方から体験談を通して考え学ぶ。
13	平和を考える	被爆体験者の方からの体験談を通して「平和について」学び、今後、自分がどのように平和と関わっていけるかについて考える。
14	進路について考える	本学の就職に関する現状の説明及び就職に向けて今後取り組むべきことを就職指導部担当より学ぶ。
15	コミュニケーションアワー(学科②)	期末試験対策と夏季休暇中の有意義な過ごし方について、ポータルサイト入力（今期の反省、キャリアチャート）

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	フレッシュマン・セミナーⅡ				
担当者氏名	梅本 礼子				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 1-10（知識と理解）生活する上で必要な社会常識を理解している。 ◎ 3-27（態度と志向性）高い教養を学修し、地域社会で主体的に活動できる力を身に付けている。			

《授業の概要》

この授業では、自己の適性に合った卒業後の進路選択の方法、就職活動の仕方や試験対策、就職の心構えなどを学ぶ。卒業後の進路は、就職、4年制大学への編入、専攻科や専門学科への進学など多岐にわたっている。授業を通して、で自分が進みたい進路や自分の適性に合った業種・職種を早く見つけ、個々の目的に向かって進んでいただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（15分）
事前学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューターがチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー(学科①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係をカリキュラムツリーを使用して説明する。ポータルサイトに、今期の目標、キャリアチャートなどを入力する。
2	自分と向き合う	自分と向き合い、自分自身について考える。
3	女性の体と病気	生涯を通し女性として知っておきたい体と病気の基礎知識とその予防や対処について医療現場で活躍されている女性医師の話を通して学ぶ。
4	（就職対策講座①）就職ガイダンス	次年度本格化する就職に向けた準備として「就職のてびき」の内容に基づいた就職活動に向けてのポイントを就職指導部担当者より学ぶ。
5	（就職対策講座②）環境ホルモンとその影響	現在自分を取り巻く地球環境がどのようなになっているのかについて、特に環境ホルモンとその影響について専門の研究者から学び自分が今後出来ることは何かについて考える
6	（就職対策講座③）国際情勢を知る	現在自分を取り巻く国際情勢がどのようなになっているのかに関心を持ち国際貢献とは何かについて理解するポイントを外務省担当職員から学ぶ。
7	（就職対策講座④）国内情勢と新聞の読み方	現在自分を取り巻く国内情勢がどのようなになっているのかに関心を持ち国内の政治や経済などに理解を深めるポイントを新聞の読み方と共に新聞記者経験者から学ぶ。
8	（就職対策講座⑤）就職のための身だしなみ	就職活動に大切な第一印象の対策として重要なスーツの着こなしやヘアメイクの専門家の方から実践的に学ぶ。
9	（就職対策講座⑥）自己分析① 職務適性テスト	適性診断テストの実施を通して就職活動を意識し、今後の自己の方向について改めて考えるきっかけとする。
10	（就職対策講座⑦）自己分析② 自己PR	自己分析①で行った適性診断テストの内容や多方面からの自己の振り返りを行い、自己理解について考える。
11	（就職対策講座⑧）人との出会いを考える	ヴィオラ奏者から、実際に演奏を聴き、留学や国内外でのコンサートを通じて世界中の方との出会いと、人間関係の大切さを経験談から学ぶ。
12	（就職対策講座⑨）イメージマップ 自分のビジョン	現状の自分を知り、そこからキャリアやライフビジョンをイメージしていく力をイメージマップを作りながら実践的に学ぶ。
13	（就職対策講座⑩）就職活動体験報告	就職活動を終え内定を得た各学科コースの2年生から就職活動の現状やポイント、又反省点などについての発表を聞き、今後の就職活動について学ぶ。
14	（就職対策講座⑪）インターネットによる就職活動	次年度の就職活動に向けインターネットによる就職活動の方法を学ぶ。（情報センター 章先生）
15	コミュニケーションアワー(学科②)	期末試験対策や、休暇中の学生生活にかかわる諸連絡および新2年生における学生生活と学修習慣について学ぶ。

科目名	キャリアアップ セミナーⅠ				
担当者氏名	梅本 礼子				
授業方法	講義	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 1-9（知識と理解）人間生活に関わる基本的な知識を修得している。 ○ 3-28（態度と志向性）専門知識や技能を用いて社会に貢献できる。			

《授業の概要》

就職活動のためのより実践的な勉強を行う。会社訪問のための身だしなみセミナーやマナー、企業の求める人材、職場での心構えやマナーなどを学内外の講師から学ぶ。また、社会で活躍する卒業生からは、仕事内容、仕事上の苦労話などを聞く。社会への視野を広げ社会の中で生きていくためには何が必要かを学んでほしい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（15分）
 事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューターがチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
 主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー(学科①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係をカリキュラムツリーを使用して説明する。ポータルサイトに今期の目標やキャリアチャートを入力する。
2	(専門教育講座)2年前半の学習の進め方(学科②)	就職や進学を控え、どのように学習を進めていったらいいかを考える。（学科教員）
3	メンタルヘルス	メンタルヘルスとは何か考える。心の健康を維持するためにどんなことができるか学ぶ。
4	(就職対策講座1)小論文の書き方(学科③)	小論文の書くにあたっての、情報収集の仕方、メモの取り方、論文のまとめ方などを学ぶ。（学科教員）
5	(就職対策講座②)採用の現状と視点	労働法や労働問題の基礎知識を専門の労働局の方から現状の事例などを踏まえて具体的に学ぶ
6	(就職対策講座③)ミスマッチを防ぐ求人選択	就職サイトや大学に来る求人票や求人情報を使い実践的にポイントを絞り今後自分に合った求人選択の方法を学ぶ
7	(就職対策講座④)エントリーシート基本・応用	主にWebを活用した就職活動に必要なエントリーシートや試験対策について実践的に学ぶ
8	(就職対策講座⑤)職場で求められる人材	実際に幅広い職種に関して採用責任者として関わっている方からそれぞれの新卒採用の視点について具体的な事例を踏まえて学ぶ
9	(就職対策講座⑥)面接対策（個別）	就職活動で重要視される個別面接について現状と対策を実践的に学ぶ
10	(就職対策講座⑦)グループディスカッション	就職活動で重要視されるグループワークとグループディスカッションについて現状と対策を実践的に学ぶ
11	(就職対策講座⑧)SPI 1	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ
12	(就職対策講座⑨)SPI 2	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ
13	(就職対策講座10) (学科別④)	就職対策講座10（学科教員）
14	(就職対策講座11) (学科別⑤)	就職対策講座11（学科教員）
15	コミュニケーションアワー(学科⑥)	期末試験対策と夏季休業中の有意義な過ごし方を考える。学生生活に関わる諸連絡、ポータルサイト入力（今期の反省、キャリアチャート）

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	キャリアアップ セミナーⅡ				
担当者氏名	梅本 礼子				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 1-10（知識と理解）生活する上で必要な社会常識を理解している。 ◎ 3-29（態度と志向性）社会人として必要な自己管理能力、協調性、高い倫理観、規律性を身につけている。			

《授業の概要》

この授業では、よき社会人として生きていくための心構えや一般常識を学ぶ。職場や社会でよい人間関係を築き、充実した人生を歩んでいくにはどうしたらいいかを学び、人間的に成長していただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

レポートを提出する。（1時間）
 テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューターがチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
 主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー(学科①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係をカリキュラムツリーを使用して説明する。ポータルサイトに今期の目標、キャリアチャートなどを入力する。
2	(専門教育講座：学科②) 2年生後半の学習	卒業を目前に控え、どのように学習していったらいいか学ぶ。（学科教員）
3	ストレスマネジメント	ストレスとは何か学ぶ。ストレスに対して自分で出来るコントロール方法について考える。
4	(就職対策講座①) 新社会人のビジネスマナー	内定後イメージ入社までに身に付けておくべきビジネスマナーの基礎と応用についてポイントを就職指導部担当者から実践的に学ぶ
5	(就職対策講座②) これから必要な法律の知識	社会人として必要な法律の知識について、仕事や生活で発生しやすい実例を踏まえてポイントを弁護士から学ぶ
6	(就職対策講座③) これから必要な税金の知識	社会人として必要な税金の知識について、実例を踏まえて多角的にポイントをふまえて税務署職員から学ぶ
7	(就職対策講座④) 新社会人のマネープラン	社会人として必要なライフマネーの視点から、将来に向けた長期的なマネープランについて実践的に金融業界専門社員から学ぶ
8	(就職対策講座⑤) 新社会人のキャリアプラン	就職後から長期的に人生を生きるためのキャリアプランの重要さとプランの造り方について自らキャリアプランを実践しているキャリアコンサルタントから学ぶ
9	(就職対策講座⑥) 新社会人のためのPDCA	学生として、又これからの社会人として知っておきたいPDCA（問題解決）の基礎知識や実践的な解決方法を演習形式で就職指導部担当者から学ぶ
10	(就職対策講座⑥) 新社会人のビジネスマナー	組織で働く場合に必要な連携・人間関係など、チームコミュニケーションについて就職指導担当者から学ぶ
11	(就職対策講座⑧) 女性の品格を学ぶ	女性として必要な品格をマナー・コミュニケーションなどの実践や今後どのように積み重ねて行けばよいのかについて元客室乗務員の方から学ぶ
12	(就職対策講座⑨) ダイバーシティ多様性の理解	社会や職場における多様性を理解し、多様な人や環境の中、どのように関わることで相互に円滑な人間関係が構築できるかなどについて学ぶ
13	(専門教育講座：学科③)	社会人に向けて①（学科教員）
14	(専門教育講座：学科④)	社会人に向けて②（学科教員）
15	コミュニケーションアワー(学科⑤)	学生生活に関する諸連絡、ポータルサイト入力（今期の反省、キャリアチャート）短大生活をふり返ると共に、社会人としての心構えを学ぶ

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	フレッシュマン・セミナーⅠ				
担当者氏名	吉村 真奈美				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 3-50（態度と志向性）社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

この授業は、初年次教育として、学園の沿革、地域の学習、地域連携等、本学の学生として充実した学生生活を過ごすための学習面と生活面のガイダンスで構成されています。学生としての責任ある行動や心構えを学び、個々の目標に沿った学生生活を送る指針としていただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

- ・事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（5分）
- ・事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューター、或いは、学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー・学修指導（学科別①）	クラス担任からの伝達。2年間で修得する学修と学生生活についてDPと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使用して学ぶ
2	セミナーについて、レポートの書き方、読書の勧め	セミナーの受講について。セミナーレポートを書く上での要領を学ぶ。図書館の利用方法と読書の大切さについて
3	学園の沿革と建学の精神	学園の創立からの歴史を振り返り本学の建学の精神と教育目標について話す。実践目標愛優輝について事例を上げ、目標に近づけるよう学生生活を過ごすことを勧める
4	大学生活の過ごし方	大学生が直面する悩みについて考える。また、カウンセリング・ルームの利用方法について学ぶ
5	情報倫理（個人情報と守秘義務）	職務上知った「秘密を守る」ことや、「個人情報を開示しない」といった、個人の権利や利益を守るための法律上の義務について、一緒に考える
6	カルト問題について	カルト問題とその対策について基礎知識を学ぶ。人権侵害組織に巻き込まれない、マインド・コントロールを受けないために
7	社会貢献	世の中に必要とされている事柄、学生としてどのようなことに社会貢献していけるかについて考える
8	防災・自助と共助を学ぶ	個々の備えと助け合いが必要な防災についてや、具体的な佐方地区の防災体制について、地域の防災担当の方から学ぶ
9	消費者教育	消費者被害等の危機回避能力、生活設計能力、問題解決能力をはぐくむため、消費に関する基礎的・基本的な知識及び技能を学ぶ
10	薬物犯罪の被害者にならないために	薬物犯罪の現状を知り、被害者にならない為に日頃から意識することや、実践的な対処法を現場の警察の方から学ぶ
11	地域理解 宮島学	宮島の歴史文化・風土などに触れ、地域の特性に詳しい観光協会担当者から具体的な情報を聞き、どう地域貢献に繋げるかを学ぶ
12	命を考える	人として、今後母親としてそれぞれの視点から「命」や「命を授かる」といったことを日頃人の生死にかかわる仕事をされている助産師の方から体験談を通して考え学ぶ
13	平和を考える	被爆体験者の方からの体験談を通して「平和について」学び、今後、自分がどのように平和と関わっていけるかについて考える
14	進路について考える	本学の就職に関する現状の説明及び就職に向けて今後取り組むべきことを就職指導部担当より学ぶ
15	コミュニケーションアワー（学科②）	クラス担任から伝達。前期末試験と夏季休業中の学修について

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	フレッシュマン・セミナーⅡ				
担当者氏名	吉村 真奈美				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 3-50 (態度と志向性) 社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

この授業では、自己の適性に合った卒業後の進路選択の方法、就職活動の仕方や試験対策、就職の心構えなどを学ぶ。卒業後の進路は、就職、四年制大学への編入、専門学校への進学など多岐にわたっている。授業を通して、自分の進みたい進路や自分の適性に合った業種・職種を早く見つけ、個々の目的に向かって進んでいただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《成績評価の方法》

レポート・課題 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポート・課題はチューターがチェックして返却する。

《授業時間外学修》

- ・事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。(5分)
- ・事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。(1時間程度)もしくは、講義内容をふりかえり(配付プリントに目を通し)、日常生活で実践(新聞を読む、ニュースを見る、自己分析をする など)する。(1時間程度)

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションワーカー・学修指導(学科①)	クラス担任から伝達。学生生活の充実と学修についてDPと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使用して学ぶ
2	自分と向き合う	自分と向き合い、自分自身について考える。
3	女性の体と病気	生涯を通し女性として知っておきたい体と病気の基礎知識とその予防や対処について医療現場で活躍されている女性医師の話を通して学ぶ
4	(就職対策講座①) 就職ガイダンス	次年度本格化する就職に向けた準備として「就職のてびき」の内容に基づいた就職活動に向けてのポイント而就職指導部担当者より学ぶ
5	(就職対策講座②) 環境ホルモンとその影響	現在自分を取り巻く地球環境がどのようになっているのかについて、特に環境ホルモンとその影響について専門の研究者から学び自分が今後出来ることは何かについて考える
6	(就職対策講座③) 国際情勢を知る	現在自分を取り巻く国際情勢がどのようになっているのかに関心を持ち国際貢献とは何かについて理解するポイントを外務省担当職員から学ぶ
7	(就職対策講座④) 国内情勢と新聞の読み方	現在自分を取り巻く国内情勢がどのようになっているのかに関心を持ち国内の政治や経済などに理解を深めるポイントを新聞の読み方と共に新聞記者経験者から学ぶ
8	(就職対策講座⑤) 就職のための身だしなみ	就職活動に大切な第一印象の対策として重要なスーツの着こなしやヘアメイクの専門家の方から実践的に学ぶ
9	(就職対策講座⑥) 自己分析① 職務適性テスト	適性診断テストの実施を通して就職活動を意識し、今後の自己の方向について改めて考えるきっかけとする
10	(就職対策講座⑦) 自己分析② 自己PR	自己分析①で行った適性診断テストの内容や多方面からの自己の振り返りを行い、自己理解について考える
11	(就職対策講座⑧) 人との出会いを考える	ヴィオラ奏者から、実際に演奏を聴き、留学や国内外でのコンサートを通じて世界中の方との出会いと、人間関係の大切さを経験談から学ぶ
12	(就職対策講座⑨) イマジマップ 自分のビジョン	現状の自分を知り、そこからキャリアやライフビジョンをイメージしていく力をイメージマップを作りながら実践的に学ぶ
13	(就職対策講座⑩) 就職活動体験報告会	就職活動を終え内定を得た各学科コースの2年生から就職活動の現状やポイント、又反省点などについての発表を聞き、今後の就職活動について学ぶ
14	(就職対策講座⑪) インターネットによる就職活動	次年度の就職活動に向けインターネットによる就職活動の方法を学ぶ
15	コミュニケーションワーカー(学科別②)	クラス担任から伝達。入学からの生活と学修の振り返り、1年後の自分について後期末試験と春期休業中の学修について

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	キャリアアップセミナーⅠ				
担当者氏名	吉村 真奈美				
授業方法	講義	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 3-50（態度と志向性）社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

就職活動のためのより実践的な勉強を行う。会社訪問のための身だしなみセミナーやマナー、企業の求める人材、職場での心構えやマナーなどを学内外の講師から学ぶ。また、社会で活躍する卒業生からは、仕事内容、仕事上の苦労話などを聞く。社会への視野を広げ社会の中で生きていくためには何が必要かを学んでほしい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する
栄養管理コースのみ：田上貞一郎「管理栄養士・栄養士になるための国語表現 臨地・校外実習、就職の即戦力！」萌文書林

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる

《成績評価の方法》

レポート・課題 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポート・課題はチューター、或いは、学科の授業担当者がチェックして返却する。

《授業時間外学修》

事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（5分）
事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）
もしくは、講義内容をふりかえり（配付プリントに目を通し）、日常生活で実践（心の健康を維持する工夫を考える、筆記試験対策をする、面接対策をする など）する。（1時間程度）
《備考》
指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー・学修指導（学科別①）	クラス担任からの伝達。就職活動について、社会人を直前にした心構えについてDPと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使用して学ぶ
2	（専門教育講座①）2年前半の学生生活（学科別②）	最終学年を迎えてこれからやるべきことについて
3	メンタルヘルス	メンタルヘルスとは何か考える。心の健康を維持するためにどんなことができるか学ぶ
4	（就職対策講座①）小論文の書き方（学科別③）	就職試験や社会に必要な小論文の書き方について学習する
5	（就職対策講座②）採用の現状と視点	労働法や労働問題の基礎知識を専門の労働局の方から現状の事例などを踏まえて具体的に学ぶ
6	（就職対策講座③）ミスマッチを防ぐ求人選択	就職サイトや大学に来る求人票や求人情報を使い実践的にポイントを絞り今後自分に合った求人選択の方法を学ぶ
7	（就職対策講座④）エントリーシート基本・応用	主にWebを活用した就職活動に必要なエントリーシートや試験対策について実践的に学ぶ
8	（就職対策講座⑤）職場で求められる人材	実際に幅広い職種に関して採用責任者として関わっている方からそれぞれの新卒採用の視点について具体的な事例を踏まえて学ぶ
9	（就職対策講座⑥）面接対策（個別）	就職活動で重要視される個別面接について現状と対策を実践的に学ぶ
10	（就職対策講座⑦）グループディスカッション	就職活動で重要視されるグループワークとグループディスカッションについて現状と対策を実践的に学ぶ
11	（就職対策講座⑧）SPI 1	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ
12	（就職対策講座⑨）SPI 2	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ
13	（専門教育講座③）（学科別④）	高齢者の食事について、最新の介護食製造技術と共に学ぶ
14	（専門教育講座③）（学科別⑤）	食品クレームについて、食品の衛生・安全を含めて社会に出て役立つ知識を学ぶ
15	コミュニケーションアワー・学修指導（学科別⑥）	クラス担任からの伝達。前期末試験と夏季休業中の学修について就職活動について、学生生活最後の夏季休業・残りの学生生活の過ごし方について

《教養科目 一般教養 一般教養》

科目名	キャリアアップセミナーⅡ				
担当者氏名	吉村 真奈美				
授業方法	講義	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 3-50（態度と志向性）社会人としての教養とマナー、職業人としての社会的責任と倫理観および常に学ぶ姿勢を心がけている。			

《授業の概要》

この授業では、よき社会人として生きていくための心構えや一般常識を学ぶ。職場や社会でよい人間関係を築き、充実した人生を歩んでいくにはどうしたらいいかを学び、人間的に成長していただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として責任ある行動や教養を習得する。
- ③各テーマの主旨を把握し文章にまとめることができる。

《授業時間外学修》

事前学修：シラバスを読み学習内容を知っておく。（5分）
事後学修：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所に提出する。（1時間程度）

《成績評価の方法》

レポート 90%、受講態度 10%

《課題へのフィードバックの方法》

レポートはチューター、或いは、学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー・学修指導（学科別①）	クラス担任から伝達。卒業までの生活と学修についてDPと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使用して学ぶ
2	（専門教育講座）（学科別②）2年生後半の生活	後期は社会に出る前に、足腰を鍛える時でもある。ふらついたら転ぶ。転んでも直ぐに立ち上がれるようにならねばならない。そのためにどうするか一緒に考える。
3	ストレスマネジメント	ストレスとは何か学ぶ。ストレスに対して自分で出来るコントロール方法について考える。
4	（就職対策講座①）新社会人のビジネスマナーⅠ	内定後イメージ入社までに身に付けておくべきビジネスマナーの基礎と応用についてポイントを就職指導部担当者から実践的に学ぶ
5	（就職対策講座②）これから必要な法律の知識	社会人として必要な法律の知識について、仕事や生活で発生しやすい実例を踏まえてポイントを弁護士から学ぶ
6	（就職対策講座③）これから必要な税金の知識	社会人として必要な税金の知識について、実例を踏まえて多角的にポイントをふまえて税務署職員から学ぶ
7	（就職対策講座④）新社会人のマネープラン	社会人として必要なライフマネーの視点から、将来に向けた長期的なマネープランについて実践的に金融業界専門社員から学ぶ
8	（就職対策講座⑤）新社会人のキャリアプラン	就職後から長期的に人生を生きるためのキャリアプランの重要さとプランの造り方について自らキャリアプランを実践しているキャリアコンサルタントから学ぶ
9	（就職対策講座⑥）新社会人のためのPDCA	学生として、又これからの社会人として知っておきたいPDCA（問題解決）の基礎知識や実践的な解決方法を演習形式で就職指導部担当者から学ぶ
10	（就職対策講座⑦）新社会人のビジネスマナーⅡ	組織で働く場合に必要の連携・人間関係など、チームコミュニケーションについて就職指導部担当者から学ぶ
11	（就職対策講座⑧）女性の品格を学ぶ	女性として必要な品格をマナー・コミュニケーションなどの実践や今後どのように積み重ねて行けばよいのかについて元客室乗務員の方から学ぶ
12	（就職対策講座⑨）ダイバーシティ多様性の理解	社会や職場における多様性を理解し、多様な人や環境の中、どのように関わることで相互に円滑な人間関係が構築できるかなどについて学ぶ
13	（専門教育講座）（学科別③）	食事のマナー 社会に出て恥をかかないための食事マナーの基礎
14	（専門教育講座）（学科別④）	社会人基礎学力の向上 12の能力要素を高めるために
15	コミュニケーションアワー（学科別⑤）	クラス担任から伝達。後期末試験にむけた学修について2年間の振り返り、卒業後の自分について

《教養科目 人間と生活 一般教養》

科目名	フレッシュマン・セミナーⅠ				
担当者氏名	松村 直愛				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 3-69 (態度と志向性)臨床検査技師としての将来の方向性を認識し、目標実現のために必要な学習をすることができる。 ○ 3-71 (態度と志向性)医療人になることの意識を持ち、人のために役立つ行動ができる。			

《授業の概要》

初年時教育として、学園の沿革、地域の学習、地域連携等、本学の学生として充実した学生生活を過ごすため、学習面と生活面のガイダンスで構成されている。
 学生としての責任ある行動や心構えを学び、個々の目標に沿った学生生活を送る指針としていただきたい。

《テキスト》

必要に応じてプリントや資料を配布する。

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち、真摯な態度で聴講できる。
 - ②大学生として、責任ある行動や教養を習得している。
 - ③各テーマの主旨を把握し、文章にまとめることができる。
- 《卒業認定・学位授与との関連》
 社会人に求められるマナーと豊かな教養を身につける。

《授業時間外学修》

準備学習：シラバスを読んで、学習内容を理解しておく。
 復習：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所にレポートを提出する。
 (30分程度)

《成績評価の方法》

レポート (90%)
 受講態度 (10%)
 《課題へのフィードバックの方法》
 レポートは、チューターあるいは学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
 主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー(学科別①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係をカリキュラムツリーを使って説明する。前期学修指導をする。
2	セミナー・レポートの書き方・読書の勧め	セミナーの受講について。レポートを書く上での要領を学ぶ。図書館の利用方法と読書の大切さについて。
3	学園の沿革と建学の精神	学園の創立の歴史を振り返り、本学の建学の精神と教育目標について話す。実践目標愛優輝について事例を上げ、目標に近づけるよう学生生活を過ごすことを勧める。
4	大学生活の過ごし方	大学生が直面する悩みについて考える。また、カウンセリング・ルームの利用方法について学ぶ。
5	情報倫理(個人情報と守秘義務)	職務上知った「秘密を守る」ことや、「個人情報を開示しない」といった、個人の権利や利益を守るための法律上の義務について、一緒に考える。
6	カルト問題について	カルト問題とその対策について基礎知識を学ぶ。人権侵害組織に巻き込まれない、マインド・コントロールを受けないために
7	社会貢献	社会人として必要な社会貢献の意識を、広島県ユニセフ協会の方の話を通して学ぶ。
8	防災・自助と共助を学ぶ	個々の備えと助け合いが必要な防災についてや、具体的な佐方地区の防災体制について、地域の防災担当や自治会の方から学ぶ。
9	消費者教育	消費者教育について、廿日市市消費生活センター・消費生活アドバイザーの方の話を通して学ぶ。
10	薬物犯罪の被害者にならないために	薬物犯罪の現状を知り、被害者にならない為に日頃から意識することや、実践的な対処法を現場の警察の方から学ぶ。
11	地域理解 宮島学	廿日市市・宮島の歴史文化・風土などに触れ、地域の特性に詳しい行政担当者・観光協会担当者から具体的な情報を聞き、どう地域貢献に繋げるかを学ぶ。
12	命を考える	人として、今後母親としてそれぞれの視点から「命」や「命を授かる」といったことを、日頃人の生死に関わる仕事をしている助産師の方から体験談を通して考え学ぶ。
13	平和を考える	被爆体験者の方からの体験談を通して「平和について」学び、今後、自分がどのように平和と関わっていけるかについて考える。
14	進路について考える	本学の就職に関する現状の説明及び就職に向けて、今後取り組むべきことを就職指導部担当より学ぶ。
15	コミュニケーションアワー(学科別②)	夏季休暇中の過ごし方、学習成果を上げるための学習について学ぶ。

科目名	フレッシュマン・セミナーⅡ				
担当者氏名	松村 直愛				
授業方法	講義	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 3-71 (態度と志向性)医療人になることの意識を持ち、人のために役立つ行動ができる。			

《授業の概要》

自己適性にあった卒業後の進路選択の方法、就職活動の仕方や試験対策、就職のための心構えなどを学ぶ。
卒業後の進路は、就職、四年生大学への編入、専門学校への進学など多岐にわたっている。授業を通して、自分が進みたい進路や自分の適性にあった業種・職種を見つけ、個々の目的に向かって進んでいただきたい。

《テキスト》

必要に応じて、プリントや資料を配布する。

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち、真摯な態度で聴講できる。
- ②大学生として、責任ある行動や教養を習得している。
- ③各テーマの主旨を把握し、文章にまとめることができる。

《卒業認定・学位授与との関連》

社会人に求められるマナーと豊かな教養を身につける。

《授業時間外学修》

準備学習：シラバスを読んで、学習内容を理解しておく。
復習：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所にレポートを提出する。
(30分程度)

《成績評価の方法》

レポート (90%)

受講態度 (10%)

《課題へのフィードバックの方法》

レポートは、チューターあるいは学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー(学科別①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使って説明する。後期学修指導をする。
2	自分と向き合う	自分と向き合い、自分自身について考える。
3	女性の体と病気	生涯を通し、女性として知っておきたい体と病気の基礎知識とその予防や対処について、医療現場で活躍されている女性医師の話を通して学ぶ。
4	(就職対策講座①) 就職ガイダンス	次年度本格化する、就職に向けた準備として「就職のてびき」の内容に基づいた就職活動に向けてのポイント、就職指導部担当者より学ぶ。
5	(就職対策講座②) 環境ホルモンとその影響	現在自分を取り巻く地球環境がどのようなになっているのかについて、特に環境ホルモンとその影響について専門の研究者から学び自分が今後出来る事は何かについて考える。
6	(就職対策講座③) 国際情勢を知る	現在自分を取り巻く国際情勢がどのようなになっているのかに関心を持ち、国際貢献とは何かについて理解するポイントを、外務省担当職員から学ぶ。
7	(就職対策講座④) 国内情勢と新聞の読み方	現在自分を取り巻く国内情勢がどのようなになっているのかに関心を持ち、国内の政治や経済などに理解を深めるポイントを、新聞の読み方と共に新聞記者経験者から学ぶ。
8	(就職対策講座⑤) 就職のための身だしなみ	就職活動に大切な第一印象の対策として重要である、スーツの着こなしやヘアメイクの専門家の方から実践的に学ぶ。
9	(就職対策講座⑥) 自己分析① 職務適性テスト	適性診断テストの実施を通して就職活動を意識し、今後の自己の方向について改めて考えるきっかけとする。
10	(就職対策講座⑦) 自己分析② 自己PR	自己分析①で行った適性診断テストの内容や多方面からの自己の振り返りを行い、自己理解について考える。
11	(就職対策講座⑧) 人との出会いを考える	ヴィオラ奏者から実際に演奏を聴き、留学や国内外でのコンサートを通じて世界中の方との出会いと、人間関係の大切さを経験談から学ぶ。
12	(就職対策講座⑨) イメージマップ 自分ビジョン	現状の自分を知り、そこからキャリアやライフビジョンをイメージしていく力を、イメージマップを作りながら実践的に学ぶ。
13	(就職対策講座⑩) インターネットによる就職活動	次年度の就職活動に向け、インターネットによる就職活動の方法を学ぶ。
14	(就職対策講座⑪) 就職活動体験報告会	就職活動を終え、内定を得た学科コースの3年生から就職活動の現状やポイント、また反省点などについての発表を聞き、今後の就職活動について学ぶ。
15	コミュニケーションアワー(学科別②)	新2年生における学生生活、学習習慣について学ぶ。

《教養科目 人間と生活 一般教養》

科目名	キャリアアップ セミナーⅠ				
担当者氏名	松村 直愛				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 3-71 (態度と志向性)医療人になることの意識を持ち、人のために役立つ行動ができる。			

《授業の概要》

就職活動に向けて実践的な勉強を行う。会社訪問時の身だしなみやマナー、企業が求める人材、職場における心構えなどについて、学内外の講師から学ぶ。また、社会で活躍している卒業生の話を聞くことで視野を広げ、求められるものや何が必要なのかを考える。

《テキスト》

必要に応じて、プリントや資料を配布する。

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち、真摯な態度で聴講できる。
 - ②大学生として、責任ある行動や教養を習得している。
 - ③各テーマの主旨を把握し、文章にまとめることができる。
- 《卒業認定・学位授与との関連》
- 社会人に求められるマナーと豊かな教養を身につける。

《授業時間外学修》

準備学習：シラバスを読んで、学習内容を理解しておく。
復習：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙にまとめ、期日までに指定場所にレポートを提出する。
(30分程度)

《成績評価の方法》

- ①レポート (90%)
 - ②受講態度 (10%)
- 《課題へのフィードバックの方法》
- レポートは、チューターあるいは学科の授業担当者がチェックして返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションアワー (学科別①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使って説明する。前期学修指導をする。
2	(専門教育講座①) (学科別②)	2年前半の学生生活について。
3	メンタルヘルス	メンタルヘルスとは何かを考える。心の健康を維持するために、どんなことができるのか学ぶ。
4	(就職対策講座①) (学科別③)	就職活動に必要な小論文の書き方について学ぶ。
5	(就職対策講座②) 採用の現状と視点	労働法や労働問題の基礎知識を、専門の労働局の方から現状の事例などを踏まえて具体的に学ぶ。
6	(就職対策講座③) ミスマッチを防ぐ求人選択	就職サイトや大学に来る求人票・求人情報を使い、実践的にポイントを絞り今後自分に合った求人選択の方法を学ぶ。
7	(就職対策講座④) エントリーシート基本・応用	主にWebを活用した就職活動に必要なエントリーシートや試験対策について、実践的に学ぶ。
8	(就職対策講座⑤) 職場で求められる人材	実際に幅広い職種に関して採用責任者として関わっている方から、それぞれの新卒採用の視点について、具体的な事例を踏まえて学ぶ。
9	(就職対策講座⑥) 面接対策 (個別)	就職活動で重要視される個別面接について、現状と対策を実践的に学ぶ。
10	(就職対策講座⑦) グループディスカッション	就職活動で重要視されるグループワークとグループディスカッションについて、現状と対策を実践的に学ぶ。
11	(就職対策講座⑧) SPI 1	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを、実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ。
12	(就職対策講座⑨) SPI 2	就職活動の筆記試験やWebテストに必要なポイントを、実際に模擬テストを通して実践的に学ぶ。
13	(専門教育講座②) (学科別④)	グローバル社会で活躍する人材 1
14	(専門教育講座③) (学科別⑤)	グローバル社会で活躍する人材 2
15	コミュニケーションアワー (学科別⑥)	夏季休暇中の過ごし方、学習成果を上げるための学習について学ぶ。

《教養科目 人間と生活 一般教養》

科目名	キャリアアップセミナーⅡ				
担当者氏名	松村 直愛				
授業方法	講義	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 3-71 (態度と志向性)医療人になることの意識を持ち、人のために役立つ行動ができる。			

《授業の概要》

よき社会人として生きていくための心構えや一般常識を学ぶ。
職場や社会でよい人間関係を築き、充実した人生を歩んでいく
にはどうしたらいいかを模索し学ぶ。
職業人として必要な専門知識や、人と関わるためのマナーやコ
ミュニケーションの必要性を知る。

《テキスト》

必要に応じて、プリントや資料を配布する。

《参考図書》

なし

《授業の到達目標》

- ①大学生としての自覚を持ち、真摯な態度で聴講できる。
 - ②大学生として、責任ある行動や教養を習得している。
 - ③各テーマの主旨を把握し、文章にまとめることができる。
- 《卒業認定・学位授与との関連》
社会人に求められるマナーと豊かな教養を身につける。

《授業時間外学修》

準備学習：シラバスを読んで、学習内容を理解しておく。
復習：テーマの主旨を把握し、自分の考えを600字詰原稿用紙
にまとめ、期日までに指定場所にレポートを提出する。
(30分程度)

《成績評価の方法》

レポート (90%)
受講態度 (10%)
《課題へのフィードバックの方法》
レポートは、チューターあるいは学科の授業担当者がチェック
して返却する。

《備考》

指定された座席で受講してください。
主に実務家教員による授業

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	コミュニケーションア ワー(学科別①)	ディプロマポリシーと履修科目との関係を、カリキュラムツリーを使って説明する。 後期学修指導をする。
2	(専門教育講座) (学科別②)	2年生後半の学生生活について
3	ストレスマネジメント	ストレスとは何か学ぶ。ストレスに対して、自分で出来るコントロール方法について考 える。
4	(就職対策講座①) 新社会人のビジネスマナーⅠ	内定後をイメージし、入社までに身に付けておくべきビジネスマナーの基礎と応用につ いてのポイント、就職指導部担当者から実践的に学ぶ。
5	(就職対策講座②) これ から必要な法律の知識	社会人として必要な法律の知識について、仕事や生活で発生しやすい実例を踏まえて、 ポイントを弁護士から学ぶ。
6	(就職対策講座③) これ から必要な税金の知識	社会人として必要な税金の知識について、実例を踏まえて多角的に、ポイントを税務署 職員から学ぶ。
7	(就職対策講座④) 新社会人のマネープラン	社会人として必要なライフマネーの視点から、将来に向けた長期的なマネープランにつ いて、実践的に金融業界専門社員から学ぶ。
8	(就職対策講座⑤) 新社会人のキャリアプラン	就職後から長期的に人生を生きるためのキャリアプランの重要さと、プランの造り方につ いて、自らキャリアプランを実践しているキャリアコンサルタントから学ぶ。
9	(就職対策講座⑥) 新社会人のためのPDCA	学生として、またこれからの社会人として知っておきたいPDCA(問題解決)の基礎知識 や実践的な解決方法を、演習形式で就職指導部担当者から学ぶ。
10	(就職対策講座⑦) 新社会人のビジネスマナーⅡ	社会人として今後いろいろな人と関わっていくに当たり、様々な場面で必要なおもてな しの精神やマナーを、ブライダルプランナーの方から実践的に学ぶ。
11	(就職対策講座⑧) 女性 の品格を学ぶ	女性として必要な品格を、マナー・コミュニケーションなどの実践や、今後どのように 積み重ねて行けばよいのかについて、元客室乗務員の方から学ぶ。
12	(就職対策講座⑨) ダイ バーシティ多様性の理解	社会や職場における多様性を理解し、様々な人や環境の中において、どのように関わる ことで相互に円滑な人間関係が構築できるかなどについて学ぶ。
13	(専門教育講座) (学科別③)	チーム医療 1
14	(専門教育講座) (学科別④)	チーム医療 2
15	コミュニケーションア ワー(学科別⑤)	春休みの学習指導：3年生を迎えるにあたり、今までの学習の総まとめの必要性につ いて。